2683	145	題号不明	板谷芳浄	言語	力水飲み火祭の先導に	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	326	￥46	￥1	￥1	秋
2684	145	題号不明	板谷芳浄	言語	躊躇なく焼松茸として喰らふ	2008	『俳句歳時記　第四版』	664	￥46	￥1	￥1	秋
2693	146	題号不明	樋笠文	言語	秋風やをとこ言葉で児を叱り	2017	『昭和俳句作品年表(戦後篇)』	350	￥46	￥1	￥1	秋
2694	146	題号不明	樋笠文	言語	妻のごとし夕べ秋刀魚を買ひ戻り	2008	『俳句歳時記　第四版』	584	￥46	￥1	￥1	秋
2700	147	題号不明	浜明史	言語	桂郎に一盞献ず衣被	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	223	￥46	￥1	￥1	秋
2701	147	題号不明	浜明史	言語	重陽やベッドの父の口達者	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	164	￥46	￥1	￥1	秋
2718	148	題号不明	不破博	言語	山に居れば山に心やけらつつき	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	408	￥46	￥1	￥1	秋
2719	148	題号不明	不破博	言語	死とはただ居なくなること秋ざくら	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	557	￥46	￥1	￥1	秋
2720	148	題号不明	不破博	言語	山がそのうしろにいつも吾亦紅	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	656	￥46	￥1	￥1	秋
2732	149	題号不明	富田潮児	言語	燈火親し一服の茶に黒砂糖	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	226	￥46	￥1	￥1	秋
2733	149	題号不明	富田潮児	言語	鬼城忌や雨にうたるるいぼむしり	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	370	￥46	￥1	￥1	秋
2738	150	題号不明	服部嵐翠	言語	子の声の風にまじりて青みかん	2008	『俳句歳時記　第四版』	607	￥46	￥1	￥1	秋
2739	150	題号不明	服部嵐翠	言語	夕風や箸のはじめの酢橘の香	2019	『俳句歳時記　第五版』	653	￥46	￥1	￥1	秋
2802	151	題号不明	福永耕二	言語	妻の腕日焼がのぼりつくし秋	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	22	￥46	￥1	￥1	秋
2803	151	題号不明	福永耕二	言語	釘箱の釘みな錆びて厄日なる	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	33	￥46	￥1	￥1	秋
2804	151	題号不明	福永耕二	言語	菊月の菊をあなどる花舗の隅	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	42	￥46	￥1	￥1	秋
2805	151	題号不明	福永耕二	言語	十月の紺たつぷりと画布の上	2008	『俳句歳時記　第四版』	486	￥46	￥1	￥1	秋
2806	151	題号不明	福永耕二	言語	秋の夜や膝の子にわが温められ	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	48	￥46	￥1	￥1	秋
2807	151	題号不明	福永耕二	言語	いわし雲空港百の硝子照り	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	79	￥46	￥1	￥1	秋
2808	151	題号不明	福永耕二	言語	寝待月子を眠らせて妻と出づ	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	101	￥46	￥1	￥1	秋
2809	151	題号不明	福永耕二	言語	病室に子恋つのらす十三夜	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	105	￥46	￥1	￥1	秋
2810	151	題号不明	福永耕二	言語	めつむれば怒濤の暗さ雁渡し	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	121	￥46	￥1	￥1	秋
2811	151	題号不明	福永耕二	言語	父に似る伯父を上座に魂迎	2008	『俳句歳時記　第四版』	561	￥46	￥1	￥1	秋
2812	151	題号不明	福永耕二	言語	そのこゑの舁［こだま］ちかづく囮籠	2008	『俳句歳時記　第四版』	542	￥46	￥1	￥1	秋
2813	151	題号不明	福永耕二	言語	菊人形胸もと花のやや混みて	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	294	￥46	￥1	￥1	秋
2814	151	題号不明	福永耕二	言語	文化の日幹は画鋲をあまた刺す	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	170	￥46	￥1	￥1	秋
2815	151	題号不明	福永耕二	言語	新宿ははるかなる墓碑鳥渡る	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	389	￥46	￥1	￥1	秋
2816	151	題号不明	福永耕二	言語	こほろぎや農事暦に火山灰［よな］埃［ぼこり］	2008	『俳句歳時記　第四版』	590	￥46	￥1	￥1	秋
2817	151	題号不明	福永耕二	言語	紅葉して桜は暗き樹となりぬ	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	505	￥46	￥1	￥1	秋